

ビジョン： 愛媛大学は、「輝く個性で 地域を動かし世界とつながる大学」を創造することを理念に、地域を牽引し、グローバルな視野で社会に貢献する教育・研究・社会活動を展開する。

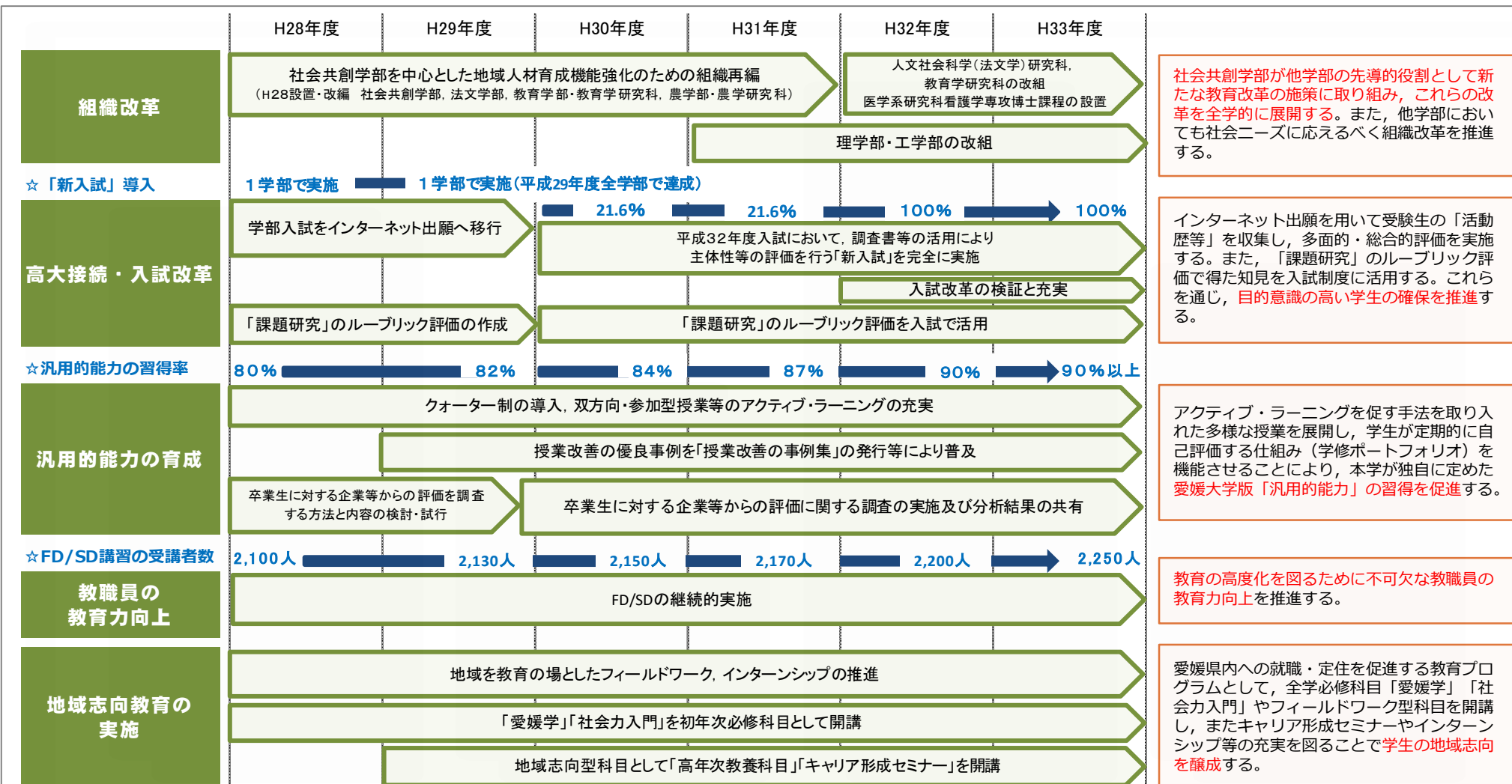
## 戦略1：地域の持続的発展を支える人材育成の推進

### 戦略の目的

「高齢化による自治体消失の危機」、「社会全体のグローバル化」や「高大接続改革」に対応するため、入試改革の推進、学習方法の転換、キャリア教育の充実など、地方国立大学はダイナミックな教育改革を求められている。第1の戦略として本学は、学部改組や教職員能力開発の実績を活かし、**地域の課題発見・解決等のための汎用的能力を備えた人材を地域に輩出することにより、地域社会の持続的発展に貢献する。**

### 戦略達成を測る精選した評価指標

- ☆多面的・総合的評価による入学者選抜の実施  
(21.6% (平成30年度中) → 100% (平成33年度中))
- ☆愛媛大学版「汎用的能力」の習得率  
(80% (平成26年度中) → 90%以上 (平成33年度中))
- ☆FD/SD講習の受講者数  
(2,100人 (平成27年度中) → 2,250人 (平成33年度中)  
学内の受講者数6年間累計延べ13,000人以上)



ビジョン： 愛媛大学は、「輝く個性で 地域を動かし世界とつながる大学」を創造することを理念に、地域を牽引し、グローバルな視野で社会に貢献する教育・研究・社会活動を展開する。

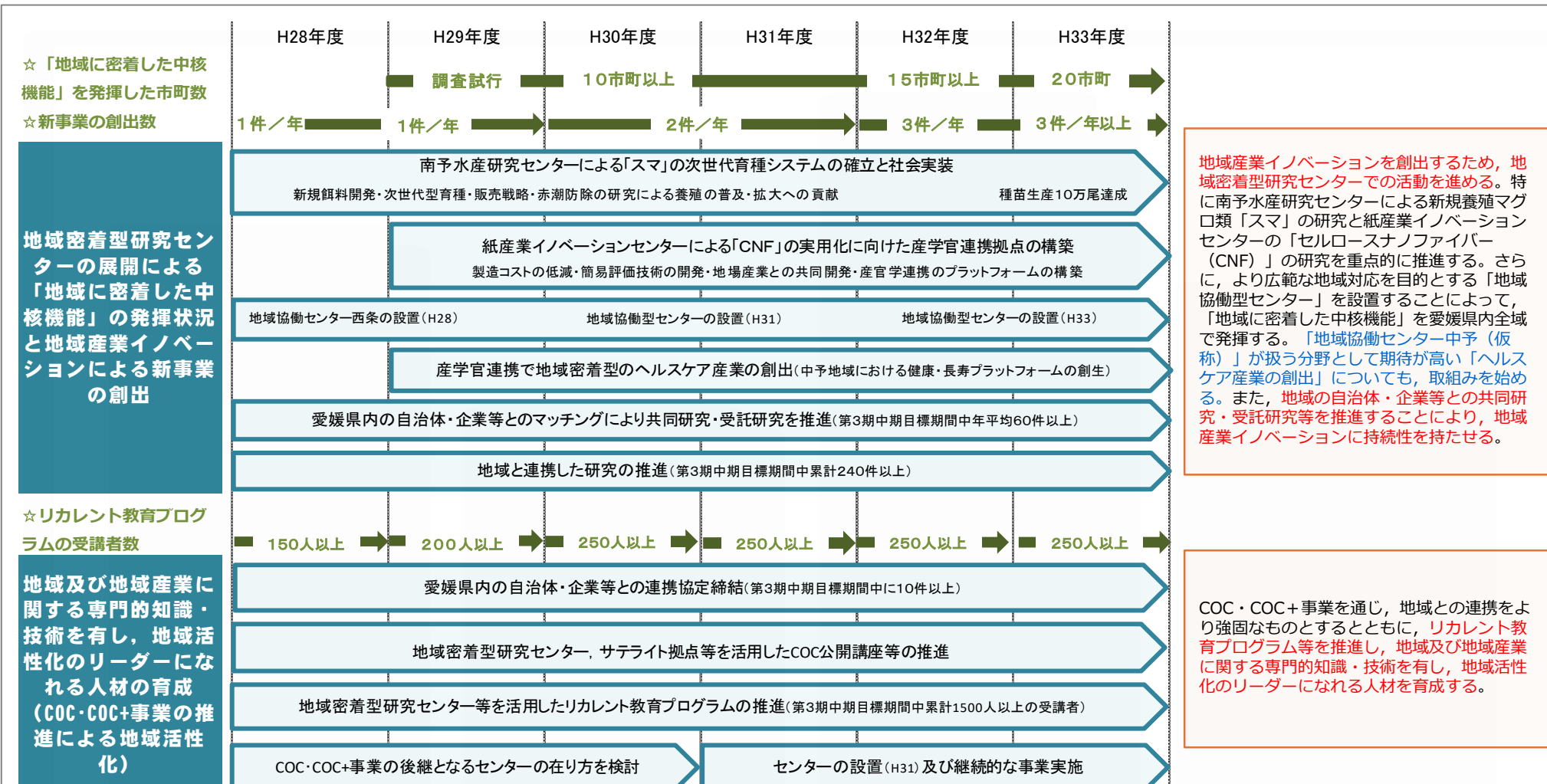
## 戦略2：地域産業イノベーションを創出する機能の強化

### 戦略の目的

地域にある大学として「まち・ひと・しごと創生」に取り組む。これまで設置してきた「地域産業特化型研究センター」に加えて、より広範な地域対応を目的とする「地域協働型センター」を設置することによって、「地域に密着した中核機能」を愛媛県内全域で発揮する。その成果として、地域及び地域産業に関する専門的知識・技術を有する「地域専門人材」の育成、地域産業のイノベーションと新事業の創出、地域活性化に貢献する。

### 戦略達成を測る精選した評価指標

- ☆「まち」「地域に密着した中核機能」の発揮状況（第3期末で県内全20市町）
- ☆「ひと」リカレント教育プログラムの受講者数累計1500人以上
- ☆「しごと」地域産業イノベーションによる新事業の創出数（1件/年 → 3件/年以上、第3期中期目標期間中累計12件以上）



地域産業イノベーションを創出するため、地域密着型研究センターでの活動を進める。特に南予水産研究センターによる新規養殖マグロ類「スマ」の研究と紙産業イノベーションセンターの「セルロースナノファイバー(CNF)」の研究を重点的に推進する。さらに、より広範な地域対応を目的とする「地域協働型センター」を設置することによって、「地域に密着した中核機能」を愛媛県内全域で発揮する。「地域協働センター中予(仮称)」が扱う分野として期待が高い「ヘルスケア産業の創出」についても、取組みを始める。また、地域の自治体・企業等との共同研究・受託研究等を推進することにより、地域産業イノベーションに持続性を持たせる。

COC・COC+事業を通じ、地域との連携をより強固なものとするとともに、リカレント教育プログラム等を推進し、地域及び地域産業に関する専門的知識・技術を有し、地域活性化のリーダーになれる人材を育成する。

### 戦略3：世界をリードする最先端研究拠点の形成・強化

#### 戦略の目的

超高压科学分野、沿岸環境科学分野、タンパク質創薬分野等の学術の深化を推進し、科学技術開発と技術革新の創出に寄与する。先端研究センターの機能強化をはじめ、新たに、地域の特性を生かした研究を行うグループや先見性や独創性のある研究グループを創生・支援する。これにより研究者コミュニティを拡大し、研究連携を通じて地域から世界にわたる諸課題解決に寄与できる**先導的な研究拠点を育成・強化して最先端研究を推進し、その基礎科学研究の成果を社会に還元する。**

#### 戦略達成を測る精選した評価指標

- ☆ハイインパクトジャーナルへの掲載数  
最先端研究センターにおいて第2期後半より10%以上増
- ☆共同研究数  
最先端研究センターにおいて第2期後半より10%以上増
- ☆リサーチユニットの認定数  
第3期中にリサーチユニットを10以上認定する

